



議会だより

しらたか

3月定例会
山形県白鷹町議会

150号記念

2021年4月15日発行
(令和3年)

表紙の風景を動画でも
ご覧いただけます



令和3年3月24日撮影

父なる山 母なる川 未来につなげ夢の懸け橋

主な新規・拡充事業 ② p

新年度予算審査 ④ p

ここが聞きたい 本会議一般質問 ⑪ p

アルカディア財団の経営は大丈夫か 産業建設常任委員会... ⑬ p

議会だより150号までのあゆみ ⑱ p

お手持ちのパソコンやスマホなど
で議会中継をご覧いただけます。
録画でもご覧いただけます。



この広報は、議員の自主編集で発行しています。

開催されました。第1日に町長の施政方針演説、総括質疑があり、各会計当初予算と質問を行い、1議員が新型コロナ感染症対策に関して町政をただしました。その後、質疑が行われました。当初予算案8件、人事案1件、条例設定13件、指定管理者の致で可決しました。

事業の遂行を

新年度予算可決 (全会一致)

施策の柱 《地域力》

◇非常備消防費・・・・・・・・・・6511万9千円

消防団の組織体制強化と団員の待遇改善などを行います。



◇すこやか・安心地域づくり推進事業モデル事業・・・100万円

住民・行政・関係機関が連携し、地域住民が主体的に地域課題の解決に取り組むことができる新たな仕組みづくりを支援します。



◇林業豪雨災害復旧事業・・・・・・・・・・6143万9千円

令和2年7月豪雨災害により被災した林道の災害復旧を行います。

◇道路河川豪雨災害復旧事業・・・・・・3億4500万円

令和2年7月豪雨災害により被災した町道や河川の災害復旧を行います。



施策の柱 《定住化》

◇デマンド型交通運行事業・・・・・・・・・・1554万1千円

町外延伸便と荒砥・鮎貝市街地の循環便を組み合わせた新たな実証実験を行います。実験の期間は7月から11月までの予定です。

◇子育て支援住宅整備工事・・・・・・・・・・1億800万円

鮎貝地区に新しい子育て支援住宅4棟を整備します。



3月 定例会

3月定例会が 3月4日から17日までの14日間の会期で補正予算を予算特別委員会に付託しました。第2日に一般議会活性化委員会、常任委員会、予算特別委員会を開き、指定46件、補正予算案8件などを審議し全議案を全会一

迅速で確実な

主な新規・拡充事業

施策の柱 《人づくり》

◇すくすく「白鷹っ子」子育て応援事業・・・200万円

遺贈寄付金を活用し町内教育・保育施設が取り組む事業に補助します。(1園50万円)

◇コミュニティスクール推進事業・・・・・・・・60万円

地域住民や保護者が学校運営に積極的に関わり、より良い学校づくりを推進します。

◇荒砥高等学校魅力化推進事業・・・1005万8千円

魅力化・活性化を進めるため、新たに魅力化コーディネーターを配置し、地域連携協議会の活動の推進と、新入生応援券の配布、教育支援員の配置、部活動など、総合的に支援します。



施策の柱 《産業・経済》

◇アルカディア財団経営基盤強化事業・・・・・・・・1億円

財団が担っている行政の補完機能(公益的事業)の強化や、新たな地域づくり等を見据えて出捐しゅつえんするものです。

※出捐(しゅつえん)とは、当事者の一方がその意思に基づいて自己の財産を減少させ、それにより他人の財産を増加させること。

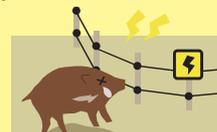


◇6次産業化推進事業・・・・・・・・339万円

6次産業化推進のための、拠点施設整備に向けた調査を行います。

◇有害鳥獣対策事業・・・・・・・・411万円

新たに地域ぐるみでの広域侵入防止柵に対する支援を行います。



令和3年度予算

一般会計83億7000万円

総額142億544万円 (前年度比4.7%増)

新年度当初予算額			
会計項目		予算額	
一般会計		83億7000万円	
特別会計	十王財産区	42万円	
	下水道	4億6164万円	
	国民健康保険	14億9501万円	
	農業集落排水	1億7261万円	
	介護保険	17億2723万円	
	後期高齢者医療	1億5611万円	
事業会計	水道	収益的支出	2億9332万円
		資本的支出	2億470万円
	病院	収益的支出	12億615万円
		資本的支出	1億1826万円
合計		142億544万円	

※万円未満は端数調整

**一般会計は
前年度に比べて10.4%
増加しました**

コロナ禍による病院支援、アルカディア財団への経営支援、新たな子育て支援住宅の整備、「令和2年7月豪雨」による災害復旧などが増えました。

総括質疑

— 施政の方針を問う —

**コロナ禍への
対応は**

山田 仁 議員

コロナワクチン接種

問 新年度予算と本町の対応は。

町長 まずは医療従事者、高齢者の皆さんへの接種に取り組みたく体制整備を構築している。ワクチン到着が見通せない状況にあり、情報提供に努めたい。

地域コミュニティの在り方

問 町内の様々な活動が自粛されたが、その影響と、今後の地域コミュニティの在り方は。

町長 予算等の支援は従来どおりであり、ワクチン接種後の事業展

開に期待したい。コミセンと連携し前向きに取り組みたい。

区・町内の合併等は地域の皆さんが主役となり検討いただくことで、行政が深入りすることは避けたい。お声がけをいただければ夢も語れるような環境づくりをしたい。

***SDGs**
*エスディーズ

問 どのような目的、効果を見込むか。新年度の取り組みは。

町長 地球環境を持続可能なものにしていくためには何が必要なのかを念頭に取り組み必要がある。身近なところから進めたい。

新たな過疎計画では、持続的な発展に取

り組むとされており、一歩前進できるような計画を設けたい。

町立病院への支出

問 経営が厳しいと承知するが、町の支援の在り方は。

町長 町立病院は町民の皆さんに安心していただける環境として非常に重要な位置にある。絶対に町立病院は守っていききたい。大きな病院との連携を協議したい。

***SDGs**

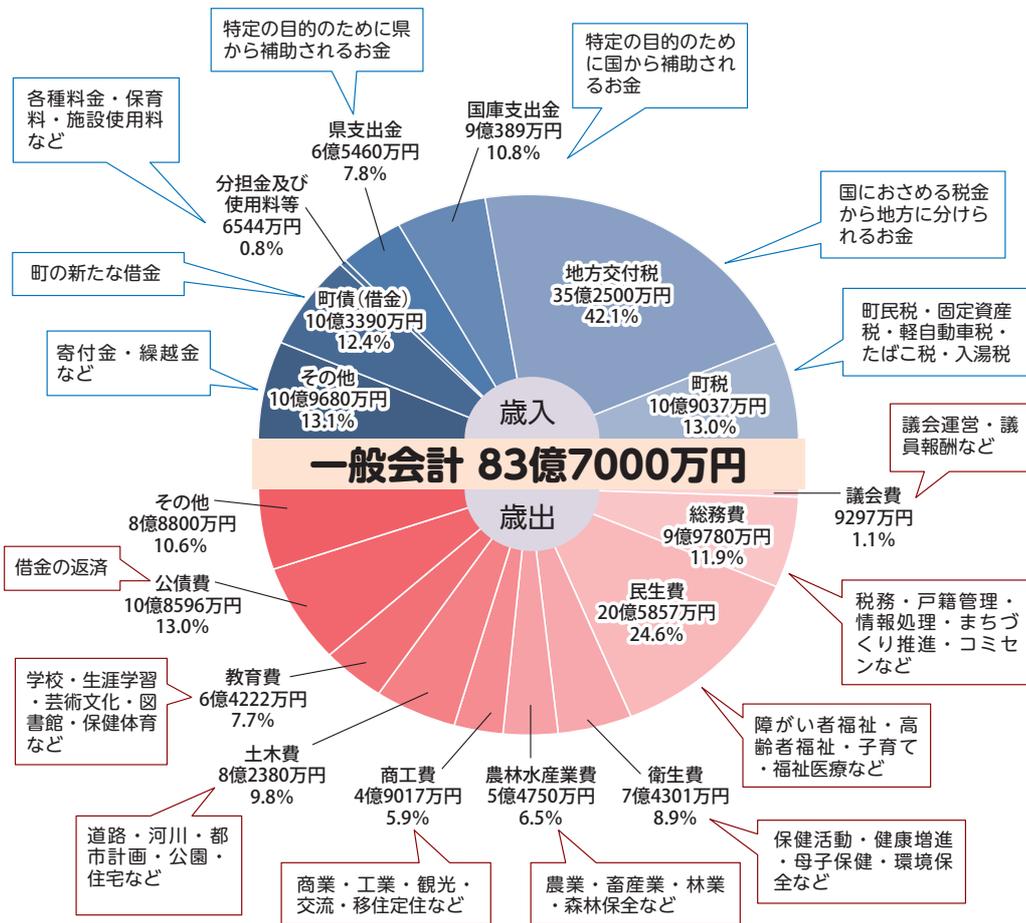
「持続可能な開発目標」の略称であり、国連加盟国が2030年までの15年で達成するために掲げた目標を指します。「貧困をなくそう」など17の目標が設定されています。



予算特別委員会 質疑142問・7時間40分

予算特別委員会とは：

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、6つの特別会計と2つの事業会計があります。3月11日と12日の2日間にわたり、令和3年度当初予算について審査しました。



歳入 (町の収入)

町税、普通交付税の詳細

小口委員 新型コロナウイルス感染症による町税収入減、普通交付税収入増を見込んでいるが、詳細はどうか。

当局 個人町民税は、帰休に入っている事業所や飲食業では所得が減額となること、固定資産税では評価替えと軽減措置による影響を見込んでいる。交付税は、国では令和2年度を下回らないように確保しており、町の公債費が増えていることもあり、交付税算入額の増を見込んでいる。

小口委員 町税や地方交付税等一般財源を今後どのように確保していくか。また見込みは。

当局 人口減少により納税義務者数も減る中で、地価の下落も予想され、固定資産税、都市計画税が減額されると想定される。

地方交付税は、国勢調査による数値が普通交付税の算定基礎に影響してくると思われる。国などの対策を注視し、持続可能な財政運営を行いたい。

基金の現状

小口委員 財政関連基金の現状と見込みは。

当局 今年度末の見込み残高は、財政調整基金約9億5500万円、減債基金約5億5700万円など全体で約25億2900万円となる。

歳出 (町の支出)

総務費

納税のスマホ決済

丸川委員 スマホ決済による収納の経費と利用見込み件数は。

当局 1件60円となり、現在の金融機関窓口払い1万5000件のうち、1500件を見込んでいる。

丸川委員 どのような手続きで納入となるのか。

当局 納入書のバーコードを読んでいただき、自宅でも支払えるもの。

公選法改正への影響

菅原委員 公職選挙法改正による財産区議会議員選挙への影響は。

当局 公選法改正により供託金が必要になるなど会計負担が増え、影響は大きくなると思われる。

鷹山コミセン整備

横山委員 鷹山コミセン整備基本構想に地域の声をどのように生かすのか。

当局 全体の声をお聞きしながら地域に合った内容を考えたい。

デマンド運行の周知

笹原委員 デマンド型運行事業の町報やホームページ以外での周知は。地域のサロンや役場にチラシを用意する

などの工夫は。

当局 ある程度の周知期間を取り、運行事業者からも周知していく。要望に応じて機会をとらえながら周知していく。



山形鉄道へ財政支援

金田委員 新型コロナウイルス感染症の影響による大きな営業赤字に対して、特例的財政支援を行うのか。

当局 基本的には、上下分離方式により、上部分（営業）について、山形鉄道が担うことと

なるが、今回の影響は、山形鉄道の営業努力だけでは解決できないため、特例的に今回限り対応していく。

マイナンバーカード

丸川委員 個人番号のカード交付促進のために導入する機器はどういうものか。

当局 出張用のタブレットを購入するものである。コミセンなどに出張して申請受付を予定している。



高齢運転者交通安全対策事業

竹田委員 急発進抑制装置の費用はどの程度

で、補助は何名を予定しているのか。

当局 費用が4万円程度、補助は2分の1、平均2万円を50件に助成と考えている。

竹田委員 高齢の方への周知方法は。

当局 広報しらたかによる広報のほか、協力いただける事業者を募集し、店頭での周知も考えたい。

竹田委員 申請者が多い場合は。

当局 担当と十分調整し、予算が不足した場合にプラスするような形で対応を検討したい。



消防費

今後の消防団

関委員 消防団員は約半数が町外勤務であり、今後のあり方を検討してはどうか。

当局 時代が変化していく中ではあるが、町外勤務の方にも消防団に加入していただき、お互いの立場を理解し、信頼し合いながら組織化していくしかないと思われる。

民生費

モデル事業の目的

丸川委員 すこやか・安心地域づくり推進事業モデル事業の目的は。

当局 地域住民の方、福祉関係者、行政が連携して、地域住民が主

体的に地域課題の解決に取り組みをすすめる。地域についてはコミセンを中心としたものと考えている。

衛生費

乳幼児眼科健診の目的は

【横山委員】 乳幼児眼科健診事業の目的と経緯は。

【当局】 目の成長は、特に3歳児健診の視力検査で見せていただいているが、異常をつかみ切れない場合もあり、より確実に異常を早期に発見するため、眼科健診事業を始める。



農林水産業費

農地等豪雨災害の復旧状況

【小口委員】 昨年7月の豪雨により被災した農地及び農業用施設の復旧状況と、小規模農地等災害復旧事業の状況は。

【当局】 年度内の復旧予定が農地1カ所と農業用施設8カ所のうちの4カ所、合計5カ所である。残る4カ所は5月上旬の復旧を予定している。小規模農地等災害復旧事業については182件の申請があり、年度内に全て復旧する予定である。

松くい虫防除の状況は

【山田委員】 松くい虫被害の状況とこれからの防除策は。

【当局】 県全体としては

今は緩やかに右肩下がりでの推移している。松くい虫防除については、鮎貝小学校裏の教育の森を中心として行っており、ふるさと森林公園内の松林では被害木を伐倒し、くん蒸処理を行っている。

家庭菜園のススメ

【笹原委員】 家庭菜園のススメ事業の具体的な内容と目指すものは。

【当局】 農業を体験する機会の提供や、そこで収穫した野菜を活用して調理実習を行う。

子どもたちや定年後に農業をしてみたいという人に興味を持ってもらい、収穫したものを直売所に出荷して収入を得るといふ楽しみも感じていただく機会の一助になればと考えている。

6次産業化の方向性は

【金田委員】 6次産業化推進計画に基づき活動しているが、実績及び進捗状況は。

【当局】 6次産業化推進検討委員会の設置、町産業振興戦略会議での協議、関係機関・実践者との意見交換会を実施している。町民に喜ばれる施設整備・運営体制について、詳細に検討を進めていきたい。



万全な体制で有害鳥獣対策を

【金田委員】 有害鳥獣対策の事業内容に、協議会、農業者の意見や要望を反映しているか。

【当局】 町単独事業による家庭菜園レベルからの補助や、出荷農家については補助率を上げる対応を実施している。今年度については、集落ぐるみで行う鳥獣被害防止対策事業という新たなメニューで取り組み。

【金田委員】 関係部署と連携を取っているか。

【当局】 有害鳥獣対策協議会を組織し、猟友会、町農林課を中心とし、総務課、教育委員会、健康福祉課と横断的に対応している。



労働費

正社員化促進事業の見込みは

【竹田委員】 今年度の状況と来年度の見込みは。

【当局】 現在の実績見込みは1事業者で2人。令和3年度は11人を想定している。

竹田委員 今後の企業への働きかけは

【当局】 町報やホームページを活用しながら、商工会とも連携し、正社員化が加速するよう努めたい。

商工費

深山和紙漉き職人の後継者育成は

【丸川委員】 職人の後継をどのように考えているか。

【当局】 今年度立ち上げた伝統工芸の村連絡協

議会において、担い手確保に向けた話し合いを行っている。

地域づくり協力隊の活用なども含めて、深山和紙を継続するため後継者を育てていくような努力をしていきたい。



アルカディア財団の経営状況は

【横山委員】 アルカディア財団経営基盤強化事業で1億円を出捐というのだが、アルカディア財団の経営状況は。
【当局】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

響を大きく受けており、財団の見込みでは5500万円の赤字を想定と伺っている。

法律により、純資産額が300万円を下回る年度が2年続けば、財団は解散しなければならぬ。令和2年度は下回る状況であり、来年度以降は財政支援をしていく必要があると考えている。

土木費

国道348号の再整備に向けて

【竹田委員】 再整備期成同盟会設立準備をどの程度進めるのか。
【当局】 高規格化の早期実現に向けて、期成同盟会の設立準備会を組織化する予定である。

西廻り幹線道路の整備促進をどう進める

【金田委員】 町長の施政方針に盛り込まれた、西廻り幹線道路期成同盟会の新年度の取り組みは。

【当局】 コロナ感染症の状況を見ながらの取り組みになると思われるが、早期事業化を図るため要望活動に取り組む、総会や情報交換会などを実施可能な範囲で開催し、事業の推進を図っていききたい。

教育費

学校運営協議会について

【丸川委員】 従来の学校評議員会と学校運営協議会の違いは。
【当局】 評議員会については必要に応じて学校運営に意見をいただく

もので、運営協議会については一定の権限と責任を持って学校運営に参画するもの。

企業と荒砥高校の連携は

【山田委員】 町内企業は荒砥高校生を求めているが、企業と荒砥高校が連携する機会が少ないのではないかと。
【当局】 このたび策定した高校の魅力化計画の中に長期職業体験の推進があり、それによる企業への新たな人材確保のつながりに期待している。

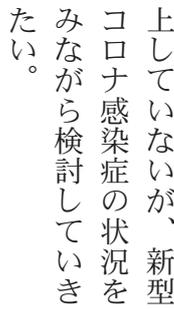
洋式トイレの増設

【笹原委員】 トイレ改修は東根小学校が最後だが今後増設の予定は。
【当局】 令和3年度で、目標にしていたトイレ1カ所1洋式化は達成する。

生活様式の変化により洋式化は求められているが、面積や配置など改修が困難な場合も予想されるので、場所に応じた検討をしていきたい。

成人式のPCR検査は

【竹田委員】 令和3年度成人式開催の際のPCR検査等の実施は。
【当局】 当初予算には計上していないが、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら検討していきたい。



特別会計

国民健康保険

税率改正に伴う経営の見直しをどう進める

【金田委員】 国民健康保険の条例改正が行われたが、それに基づく運営の見直し、今後の税率の動向など、見直しはどうか。
【当局】 税額が一人当たり、5・5%くらい上がるの見込んでいます。今後とも急激な上昇を抑えながら、段階を踏まえていきたい。

【金田委員】 現在の基金の状況と基金の適正額は。
【当局】 令和3年度当初

の基金保有額として、6700万円。適正な基金保有額については、県からも示されていない。

カ月間の運動機能向上プログラムを実施し、運動機能を回復して元気に日常生活に戻っていただく事業である。

介護保険



通所型サービスC事業とは

竹田委員 新規事業だが、どのような内容で、期待される効果は。

当局 要支援1、2やチェックリスト該当者が対象。リハビリ専門職による3カ月から6

家族介護支援

竹田委員 家族介護支援事業の来年度の取り組みは。

当局 今年度は新型コロナウイルスの影響で旅行形式による交流会の実施を断念した。来年度は健康福祉センターを会場に、分散して少人数とし、研修会や交流会を実施し、多くの介護者の方々に集まっていたきたい。



事業会計

水道事業

水道管の老朽化

笹原委員 現在の水道管の状況、漏水の状況、今後の更新計画は。

当局 水道本管は平成4年から平成15年にかけて更新したので、老朽化している管は少なく、漏水は少ない。給水管の更新計画はないが、漏水が起こる給水管をその都度取り替えていく。



予算全般

新過疎法

遠藤委員 いわゆる過疎法がこの3月で失効する。現在の過疎法に準ずる新法に、本町は継続して適用となるのか。財政面においても有効な過疎法を活用して、まちづくりに尽力したい。

当局 過疎法が持続可能な取り組みとして続くということは確認させていた。来年度は新しい過疎計画を策定し、これからも過疎法を活用しながら地域づくりにまい進していきたい。

一般会計予算に対する賛成討論

笹原 俊一 議員



迅速確実な事業遂行を

人口減少対策やコンパクト・プラス・ネットワーク関連事業への支出が見込まれることから、より一層計画的に財政運営を行っていく必要がある。

令和3年度も「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の四つの分野を施策の柱にして着実に進めるとしている。

ふるさと森林公園の再整備計画に伴いアルカディア財団に対する多額の財政支援がなされる。町民の理解が得られるよう説明責任を果たしてもらいたい。

西廻り幹線道路の早期実現や国道348号の再整備に向け、沿線自治体へけん引してもらいたい。

迅速かつ確実な事業の遂行により、町民の利益向上に期待する。

※反対討論はありませんでした。

学校内感染予防 対策に440万円

正
算
補
予
算

教育次長 学校内で感染症が発生した場合、緊急的に行う一斉消毒を想定している。



横山委員 学校における、消毒作業の対象と実施するタイミングは、消毒作業の対象とタイミングは



質
疑

一般会計補正予算の主な内容

感染症対策等学校教育活動継続支援事業	440万円
学校における感染症予防に関する消耗品の購入や消毒作業などへの対応	
感染症対策基金費	250万円
ふるさと応援寄附金に寄せられた感染症対策分の積立	
国民健康保険特別会計繰出金	3,479万円
感染症対応分及び事業実績に基づく繰出金の調整	
放課後児童健全育成事業	160万円
放課後児童クラブに対するICT機材の整備を支援	
新型コロナウイルス感染症に係る検査費用助成事業	260万円
PCR検査等に係る費用を支援	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	4,088万円
ワクチン接種及び実施体制整備への追加対応	
担い手確保・経営強化支援事業	2,000万円
農業経営発展に必要な農業機械の導入を支援	
産地生産基盤パワーアップ事業	226万円
農業用高性能機械の導入を支援	
白鷹町地域経済変動対策事業	7,000万円
白鷹町地域経済変動対策基金への追加積立	
道路河川豪雨災害復旧事業費	1,459万円
災害復旧事業に関連した土地の取得	
障がい福祉サービス費など扶助費	5,787万円
など	

◎財源は、国・県支出金、地方債、諸収入、繰越金などで対応します。

令和2年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1億800万円	113億6500万円

※万円未満は端数調整

ICT機材とは

丸川委員 放課後児童クラブに整備するICT機材とはどういうものか。

健康福祉課長

コロナ禍でニーズが高まる放課後児童クラブにおいて、支援員のオンライン研修などに対応するための機材や環境の整備を行うもの。



丸川委員 県などから準備の依頼があったのか。

健康福祉課長

国の3次補正予算による事業で、各クラブに意向調査を行って事業化するもの。

増額の要因は

竹田委員 心身障害者福祉費におけるサービス費増額の要因は。

健康福祉課長

障害児においては、施設の利用者、利用量の増加、障害者においては、支援区分の重度化による給付の増加などである。

経済を支える取り組みは

町長 切れ目なく細やかな支援を行う



録画を配信



菅原俊一議員

ワクチン接種体制

問 現時点でのワクチン接種計画の状況は。

町長 町立病院を会場とし、町内医療機関の協力で集団接種方式を想定し準備している。

経済を支える対策

問 町内産業界への影響と支える取り組みは。

町長 製造業、飲食業界等、影響は大きい。感染症の状況を注視し、一刻も早い経済の回復に向け、切れ目ないきめ細やかな支援を行う。

援をしていく。

問 お店と町民双方が利益を得られる対策を。

町長 不平や不安を招かないような対応をしていく。

イベント開催

問 イベント開催はコロナに立ち向かう力になると考えが。

町長 どのような形で開催するのが望ましいか検討し、可能な限り開催してまいります。

問 観光協会から発表された桜、紅花、鮎まつりなどは、

どのような形での開催となるのか。

商工観光課長

感染防止を最優先に滞在時間を短くし密にならないよう、町内を周遊していただき、町内の経済効果を上げていきたい。

教育現場への影響

問 コロナ禍で過ごす子どもたちの変化は。

教育長 児童生徒は徐々に新しい生活様式に慣れながら、元気に学校生活を送っている。

問 春から1人1台のタブレットが貸与される。個人や学校ごとの格差を生じさせないための取り組みは。

教育長 わかりやすい授業形態を目指し、学校や教科、個人間の格差が出ないように取り組む。

問 コロナ禍で家庭でも収入が安定しない中、通信料の負担など保護者から声は上がらないか。

教育次長 これまでのところWiFi環境整備や通信料に係る負担に対し、直接ご意見は頂戴していない。収入状況に応じて、令和3年度からオンライン学習の通信費も支援する。それにより一定の負担軽減を図ることができると考える。



移住定住の好機

問 リモートが徐々に普及し場所を選ばず働けるように

なった。移住促進のチャンスと捉え、取り組みの工夫として※コミュニティセッションアプリなどを活用してはどうか。

商工観光課長

ひとつの手法として検討する価値があると思う。

タブレット議会

問 議会のデジタル化を共に進められないか。

町長 議会でご検討いただき方向性を、出していたくならば、我々もご協力を申し上げるといふことに関しては何ら躊躇するものではない。

※コミュニケーションアプリ
スマートフォンなどを使って情報伝達や意思疎通を行うソフトウェア。

条例

●白鷹町歴史民俗資料館の設置に関する条例の制定

白鷹町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する事項を定めるもの。

●白鷹町課設置条例の一部改正

組織の改編を行うもの。

●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

消防団員の報酬を改定するとともに、学校運営協議会委員の報酬を定めるもの。

●白鷹町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の健全な運営を図るために税率等を改定するもの。

ほか9件

町道認定・廃止

荒砥橋架け替え工事による認定・廃止

●認定する路線

神明堂線

起点 荒砥甲字七反二1476-7

終点 荒砥甲字大師田1590-1

●廃止する路線

神明堂線

起点 荒砥甲字油田1353-12

終点 荒砥甲字大師田1590-1

人事

次の人事案件に同意しました。

●人権擁護委員候補者の推薦

中村 裕之氏（畔藤）

請願

●「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級」の実現を求めることについて

●請願者 少人数学級をすすめる県民の会

●紹介議員 関 千鶴子

●請願内容

新型コロナウイルス感染症対策として教室の密集状態を避けるとともに、ゆきとどいた教育を進めるため、早期に30人学級を実現するよう、国に対して意見書を提出願いたい。

審査過程

*付託委員会 総務厚生常任委員会

*委員長報告 採択すべきもの

*賛成討論 なし

*反対討論 なし

=全員賛成により、採択=

指定管理者の指定

地方自治法に基づき、指定管理者に施設などの管理を行わせるもの。

◆白鷹町斎場

有限会社セイノヤ

令和3年4月1日～令和8年3月31日

◆白鷹町食と農村交流施設

有限会社どりいむ農園

令和3年4月1日～令和6年3月31日

◆白鷹町ヤナ公園

白鷹町観光開発株式会社

令和3年4月1日～令和6年3月31日

◆白鷹スカイパーク

有限会社トントンとんぴ

令和3年4月1日～令和8年3月31日

◆白鷹町文化交流センター

株式会社シグマ

令和3年4月1日～令和8年3月31日

◆いきいき深山郷のどか村

一般財団法人白鷹町アルカディア財団

令和3年4月1日～令和4年3月31日

ほか40件

ご意見ありがとうございました。=議会だよりアンケートの結果=

皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を参考に、今後も議会を身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。

- ◆回答数：33 ◆性別：男16・女11（無回答6）
 ◆年齢：10代～30代まで…0 40代…1 50代…1 60代…8
 70代…11 80代以上…11 無回答…1

質 問

*毎号みていただいていますか

- 1 見ている……………30
 2 時々見ている……………3
 3 見ていない……………0

*見やすい・読みやすいと思う紙面は （複数回答）

- 1 写真や色使いが良い……………14
 2 見出しで内容がわかる……………8
 3 文章がわかりやすい……………14
 4 議会のことわかる……………17
 5 その他…0

*見にくい・読みにくいと思う紙面は （複数回答）

- 1 言葉が専門的……………7
 2 色が多く目が疲れる……………2
 3 文章が長い、わかりづらい…6
 4 内容が面白くない……………3
 5 その他……………5

ご意見から

（全て掲載できませんがご了承願います）

- * 議会での協議、質疑応答がわかりやすい。
- * 一般質問・常任委員会及び協議会での質疑内容が見えて大変良かった。
- * 自らが選んだ議員が、町政全般についてどう臨んでいるのか、議会報も重要な情報源。常任委員会レポートも議員名と答弁者の職名を明示してほしい。
- * 滝野夏祭り実行委員会の取材記事に感動いたしました。
- * 年間の議員活動状況を報告してはどうか。
（例）本会議への出席状況、質問回数、議案の賛否などを一覧表にして。
- * 視察研修について、町民には全然知らされていないので、ぜひ知らせてほしい。

広報委員会より

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できませんでしたが、令和元年度の視察研修報告は、議会だより145号に掲載していますので、ご覧ください。これからも、研修結果は報告させていただきます。

第1回臨時議会 1月21日

◎令和2年度一般会計補正予算（主な補正内容）

- * 除排雪委託費 1億200万円
- * 新型コロナウイルス対策ワクチン等に備えるもの 2,000万円
- * 債務負担行為（白鷹町ふるさと森林公園管理運営業務：令和2年度から令和5年度1億3,716万6,000円）など

◎議会運営委員会発議

「誹謗中傷をなくし共に支えあうことにより新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議について」全員賛成し可決。

総務厚生常任委員会 3月9日

地域防災計画の見直しへ

白鷹町地域防災計画修正案のポイントについて説明を受けた。

質疑

ペットの避難

委員 ペットの同行避難の計画は。

当局 飼い主にマニュアルをお知らせし、避難所内でのペットの在り方を示したい。

男女共同参画

委員 自主防災組織の男女共同参画の具体策は。

当局 組織の役員に女性も参入できる環境づくりや働きかけを行いたい。

デジタル化

委員 防災のデジタル化の内容は。また、双方向のやり取りは可能か。

当局 個別受信機の導



※防災アプリ

パソコンやスマートフォンに導入し、防災情報等を得るプログラム。

「なりたい自分、ここからスタート」

荒砥高等学校魅力化計画について説明を受けた。

質疑

具体的な活動は

委員 主な取組の具体的な活動は。

当局 職場体験は、町内企業において半年程度の期間を設定し、半日を企業に行つて学ぶなど勤労観や職業観を養う。また地域と連携し、資源や課題を掘り起こす作業から行いたい。

委員 情報発信は。

当局 魅力化のホームページやSNSで活動をPRできるものを考えている。

委員 全生徒対象か。

当局 全生徒対象だが、段階的に取組んでいく。

委員 コーディネーターは常勤か。

当局 常勤で配置したい。

荒砥高等学校魅力化に係る地域連携協議会を設置し、魅力化計画の策定に向けて令和2年9月より協議会を2回、実務者会議を2回開催し、検討してきた。

【計画の概要】

1 名称

荒砥高等学校魅力化計画

2 計画期間

令和4年度まで

3 主な取組

①教科「教養基礎」の実施

基礎学力の定着徹底を中心としたカリキュラムの実践

②長期職場体験実習の実践

望ましい職業観・勤労観を育成するための長期間にわたる就業体験活動

③地域課題解決型学習



町立図書館の指定管理者導入検討へ

町立図書館の今後の管理運営について説明を受けた。

【管理運営の概要】

【令和3年度】

1 管理運営方法

直営方式

2 職員体制

- ・ 図書館長1名(常勤)
- ・ 図書館司書2名
- ・ 事務員2名

【令和4年度以降】

図書館及び中央公民館を一体的に管理運営することとし、業務委託又は指定管理者制度の導入を検討。

●業務内容

- ① 図書館管理運営業務
- ・ 図書館業務
- ・ 各種事業の実施
- ・ 書籍文具等販売 等
- ② 中央公民館管理運営業務
- ・ 施設利用受付等貸館業務 等
- ③ 役場日直業務
- ・ 夜間や閉庁日の管理運営 等

質疑

今後の町立図書館

委員 図書館長が常勤となる恩恵は。

当局 週5日勤務となり館長の考えを積極的に出していただきたい。

委員 龍門図書館との連携とは。

当局 貸出できるものは貸し出したい。

委員 移動図書館の取り組みは。

当局 以前実施した際貸し出しが少なかった。どういう取り組みがいいか、児童数も減っているなかで効果のあるものを検討したい。

委員 指定管理になっても町立か。

当局 運営が変わるだけ、町立そのものには変わりはない。



- その他
- 山形鉄道株式会社経営状況について
 - 白鷹町国土利用計画(最終案)について
 - 白鷹町振興実施計画(案)について
 - 第2期白鷹町空家等対策計画(案)について
 - 白鷹町災害廃棄物処理計画(案)について
 - 白鷹町国民健康保険の現状と税率について
 - 白鷹町地域福祉計画(案)について
- 等について説明があった。

総務厚生常任委員協議会 2月22日

消防団員の待遇改善へ

白鷹町消防団組織体制等の見直しについて説明を受けた。

【見直しの概要】

●副団長2名体制について

災害時に団長、副団長の不在も懸念されることから、副団長を2名体制とし組織体制の強化をはかる。

●団員報酬の見直しについて

現行報酬は地方交付税単価を下回る水準であり、適切な額の支給が求められている。また、災害が頻発化し団員の負担も増加しており、処遇改善を図るため報酬額を引き上げ、団員個人に直接振込とする。

これまでどのように支給されていたか。活動費に不足は生じないか。

当局 現在、団員報酬は部に支給している。今後報酬は個人に振り込まれるので、活動費は各部で検討することになる。

委員 分団への活動費の内容は。

当局 各分団に8万円、自動車班に1万円、可搬ポンプ班に5千円。

定員確保

委員 定員670名はどういう経過でなったのか。

当局 それぞれの団、部、消防設備の活動がベスト状況になるような定員にしている。改

めてそれぞれの団で議論いただき、提案いただければ、対応していきたい。

委員 定員確保のために、高校生に消防団の活動を知ってもらおう取り組みもあっていいと思うが。

当局 特に新たなものは考えていないが、演習等には家族ぐるみで見に来ていただいている。地域活動も含めて消防団活動を進めていきたい。



産業建設常任委員会 3月10日

アルカディア財団の経営は大丈夫か

財団戦略推進プラン及び職員研修計画の策定状況について説明を受けた。

【概要】

2月22日開催の協議会を経て（P17参照）、財団に向き現地調査を行なった。

質疑

※分散型か※一体型か

【委員】策定検討委員会の中で、分散型でという意見はなかったのか
【当局】全員から一体型というご意見をいただいた。

【委員】町民目線からすると近い方が良いという声もあり、冬期間は危険という意見もある。また、人口減少に伴い経営は大丈夫か。

【当局】冬期間については、経験値もあるので滑り止めをするなど

先々の対応をし、バスを利用していただくなどとして誘客に努めていく。

※分散型…パークゴルフ場、テニス場等はそのまま管理し、現在のパレス松風を全く別の場所に移し経営する考え方。
※一体型…現在のパレス松風を、規模を縮小し、周辺の施設と一体的に経営する考え方。

経営悪化の影響は

【委員】計画案のなかで、経営が著しく悪化した

場合は、周辺に深刻な影響を及ぼすとあるが、

どういった方面にどのような影響があるのか
【当局】燃料、食料などを納品している方々などである。

町民アンケートを

【委員】町民に育ててもらう施設にするなら、全町民にアンケートを取る必要があるのではないか。

【財団】委員の意見も踏まえて、町民の方から良かったと言っていただけの施設にしていかなければならない。



1億円の出捐金支出は

【委員】1億円の出捐金を来年度予算に計上しているが、状況について従業員に詳しく説明しているか。

【財団】経営についての厳しい状況は、各種会議等で逐次説明し、職員にも伝えている。
【委員】1億円は町民の税金であるとの指摘もあるが、研修を待たずに今すぐできることもある。早急な改善を望むがどうか。

【財団】職員のスキルアップが末端にまで行

き届いていなかったという反省もある。研修計画もでき、お客様に喜んでいただけるようにしていきたい。

経営責任は

【委員】財団設立当初、白鷹町のほかに、農協・商工会・森林組合が出捐してきた経緯があるが、今回はないのか。

【当局】一般財団法人に移行したためお願いしなかった。

【委員】公益的事業を担っていることは理解できるが、「収益的事業も行っている財団に対し、多額の支援をするのか」との町民の声が多く聞かれる。そのことに対する納得のいく説明は。

【当局】一般財団法人は、法律上純資産額が2年連続で300万円を下回ると解散となる。今回の支援は財団を存続させるためのものであり、今後も町民

の期待に添えていきたい。

【委員】順調な経営が行われることが町民の願いであるが、仮に、赤字経営となった場合の経営責任は。

【財団】責任は、理事・理事長にある。現在、収益・公益的事業があるが、公益的事業は引き続き継続していく必要があると思う。今後、事業を分けるのか、どういう組織がいいのか、考えていく必要がある。





委員 専務理事が常勤になったことでどう変わったのか。

財団 職員との対話等が増えたこと。課題が発生した場合、すぐに指示ができるようになった。

お客様から選ばれる施設とは

委員 一番問題なのはお客様から選ばれなかったこと。なぜお客様から選ばれなかったのかを分析したのか。

財団 接客、施設、サービス提供などさまざまな要因がある。一つ一つ何が課題であったか、確認しながら取り

組んでいきたい。

委員 露天風呂休止による収益の低下とあるが、仮に露天風呂が再開になった場合、どう数字が上がってくるのか検討したのか。

当局 お客様からの強い要望が多い。規模などを具体的に検討していく必要がある。

委員 経営なので、数字を出して検討しなければならず、入湯料アップについて、どの程度上げればよいか考えはあるのか。

当局 リサーチをして、投資効果、回収すると何年かかるかなど、どの程度の効果があるかの戦略があつての投資である。今後、具体的な数字を示さなければならぬ。

委員 収益的事業の営業努力は、具体的にどのように行っているのか。

当局 企業訪問、ダイレクトメールなどを行っている。今後も職員が一丸となって取り組んでいく。



- その他
- 白鷹町食育・地産地消推進計画
 - 防災重点ため池ハザードマップ作成事業の進捗状況
 - 町道路線の認定及び廃止
- などについて説明を受けた。

産業建設常任委員協議会 2月22日

町民目線の再整備計画か

白鷹町ふるさと森林公園再整備計画の策定状況について説明を受けた。

【背景】

白鷹町ふるさと森林公園は町民保養センターのオープンから34年、施設の老朽化が著しい。加えてコロナ禍の影響を大きく受け、先行きが不透明な厳しい経営状況が続いており、町民の健康増進をはかるとともに、公園の機能充実と魅力を高めるため再整備計画の策定に取り組む。

うに反映しているの
か。
できるかなども検討したい。

当局 町民保養センターとして必要なので残してほしいという意見や露天風呂の復活への声が多くあつた。また、職員の研修が重要である。

町民と一緒に考えた施設に

委員 町唯一の施設であり、町民と一緒に考え、何とかうまくいくような案を出し合つて、明るい方向を見つけていただきたい。

露天風呂の計画は

委員 慢性的な赤字体質を改善しながら、露天風呂を設置するのかが、
当局 光熱水費が赤字を生んでいる。露天風呂の設置となると加温などが必要になるが、新たに温泉を掘るか鉱泉的なもので行くか、バイオマスにより加温

検討委員会の検討内容は

委員 検討委員会の中で具体的なにはどのような意見が出て、どのよ



特集

白鷹町議会だより 150号までのあゆみ



白鷹町議会だよりは150号を数えることになりました。町の歴史と共に振り返ります。



議会の主な出来事

(年度)	23年	22年	21年	20年	平成8年	昭和59年
創刊号 発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員選挙14名。議長に青木彰榮氏、副議長に守谷丹吾氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県町村議会広報コンクール入選 ・ 議員政治倫理条例制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北朝鮮による核実験に抗議する決議 ・ 県町村議会広報コンクール入選 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第100号発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第50号 発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創刊号 発行

白鷹町内の主な出来事

(年度)	25年	24年	23年	22年	21年	20年	平成8年	昭和59年
大瀬分校廃校、荒砥小新校舎竣工								
鮎貝城築城600年祭								
町営バス廃止、デマンドタクシー導入								
白鷹町文化交流センター開館								
「ROCKU」設立								
白鷹町産業センター開館								
東日本大震災発生								
しらたかゆめ未来発掘事業 開催								
白鷹町少年少女合唱団第1回定期演奏会								
東陽グランド人工芝へさくらの保育園開園								

祝

関千鶴子議員が
表彰される



令和3年2月、関千鶴子議員が、全国町村議会議長会から表彰されました。

第130号



第100号



第85号



第149号



第115号



第95号



3年	2年	令和元年	30年	29年	28年	27年	26年
<ul style="list-style-type: none"> ・第150号発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・県町村議会広報コンクール入選 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員選挙12名。議長に今野正明氏、副議長に山田仁氏 ・コロナ誹謗中傷発言を決議 	<ul style="list-style-type: none"> ・県町村議会広報コンクール入選 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数削減を決議 ・県町村議会広報コンクール入選 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員補欠選挙1名 ・県町村議会広報コンクール入選 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員選挙14名。議長に遠藤幸一氏、副議長に小形輝雄氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等整備特別委員会設置 ・議員選挙14名。議長に遠藤幸一氏、副議長に小形輝雄氏
	2年	令和元年	30年	29年	28年	27年	26年
	<ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨災害 ・白鷹大橋開通 ・白鷹山関十両優勝 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり複合施設オープン ・新図書館オープン ・地域交流商業施設オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・初の感染症対策本部設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひがしね保育園民設 ・最上紅花が日本農業遺産に認定 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり複合施設工事開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館がコミュニティセンターに移行 ・町武道館オープン 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月豪雨災害 ・7月豪雨災害 ・鷹山小学校閉校 ・白鷹中学校閉校 ・地域おこし協力隊初着任

第26回山形県町村議会広報コンクール

入選しました

毎年、全国や県の町村議会広報コンクールに応募し、令和2年の山形県町村議会広報コンクールで入賞することができました。



入賞した議会だより145号

【審査委員の講評の一部を掲載します】

- ・「知れば得する“ぎかい”のキホン」がよくできている。より議会に親しんでほしいという意識を感じる。
- ・写真もただ掲載するだけでなく、写真の中に吹き出しを入れたり、写真の下にコメントを入れたりなど、工夫がみられてよい。
- ・一般質問では議員名、顔写真、QA見出し、質問に関連写真がそろっている。少しホワイトスペースもほしい。

QRコードで全頁をご覧いただけます。



議会広報特別委員会委員

広報委員

委員長 笹原 俊一
副委員長・編集長 横山 和浩
委員 丸川 雅春
委員 竹田 雅彦
委員 金田 悟
印刷・長谷川印刷

このたび、150号を記念して題字も新しくなりました。広報委員一同、町民の皆様には、手に取って読んでいただける広報をめざし新たな気持ちで取り組んでまいります。厳しい日常が続きますが冷たい冬も春になりました。共々に乗り越えていきたいと思います。(笹原)

編集後記

町民の皆様を支えられ「議会だよりしらたか」も150号を迎えることができました。年4回の発行を考えると創刊から37年半ということになります。先輩方のご努力に敬意を表するとともに歴史の重さに身の引き締まる思いです。

